夕刊 常磐毎日

発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
電話1210番
編集兼印刷発行人 吉田甫

平消防團機構改革
四地區に消防團を設置

平消防団では十日午後文書をもつて、消防長である諸橋市長並びに金古市会議長に対し「現在の平消防団（団員七百五十名）を旧平市と旧平窪、飯野、神谷の四地区に単一消防団を作り、これを連合組織にしてまとめたい」という機構改革案を上申した

本部を連合組織
〃単一団〃で活動化計る

右に関し松本団長は次の如く語つた

「この機構改革案のねらいは、目下盛んに行われている隣接町村との町村合併に拍車をかけるため、各町村別の単一消防団を作りこれらを集めた連合会組織にすることによつて、町村合併の促進と、消防活動の円滑を計ろうというものである」

（写真は松本団長）

大浦冷害対策 営業資金貸付

大浦村役場では六日午前九時から冷害対策営農資金融資対策について審議委員会を開き営農資金第一回分六百六十六万円を組合員四百二名に近く同村農業協同組合で融資することになつた

公民館運営講習

石城、平公民館運営協議会と県教委石城出張所主催の公民館運営講習会は十九日午前九時より平市公会堂日本間で次の要領で実施する

▽講演「青年学級の運営について」石城出張所吉田功主事、▽情報交換▽分科会▽全体会議▽講演「公民館運営について」県社教主事坂下誠氏

等について協議する

湯本排水路工事 渡辺組着工

湯本町大字三函から向田に至る延長百廿米の排水路工事は、工費二百六十万円で湯本町渡辺組が請負い着工した

三十人に一名 営林署採用試験

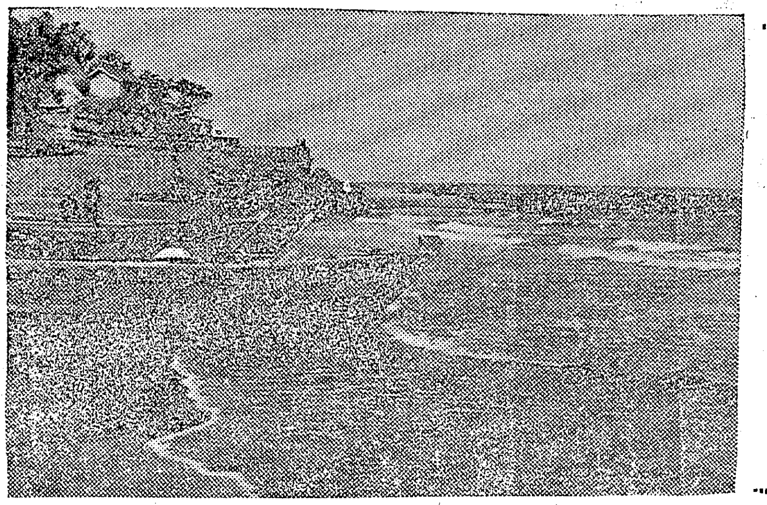
十四日午前九時から平商業高等学校に於いて、前橋営林局管内職員採用試験が行われるが一名乃至二名の採用に希望者が三十五名もあり平営林署人事係では、全くひどい就職難だと語つている

お食事のデパート
出前迅速
不二屋
電八八六 一七五〇

外食券制度の徹底
違反者は厳罰主義で望む

やみ米のはんらん以来外食券制度は、いつの間にか市民からもまた米飯提供業者からも忘れられているが、未曾有の冷害による米こく事情窮迫の折から「外食券制度」の趣旨に徹底されたいと市では十日市内の米飯提供業者に協力方を要請した

旅館、食堂等に於て米飯を提供する場合は、食管法に基き「米飯提供者」として登録し、且つ外食券引替えでなければ提供出来ないことになつているが、やみ米のはんらん以来、外食券に依らず公然と米飯を提供またそれはやみ米のはんらんを助長させる原因ともなつている現状で冷害による米こく事情窮迫の折から好ましくないと言うものなお外食券の受払いは毎月報告を提出することになつているので本年一月以降は提出を励行してほしいと要望しているが、違反の場合は厳罰主義で臨むと警告している



…波立の薬師の辺り海ぬるむ…

勧業主任と改良員会議

郡下各町村勧業主任及び農業改良委員の合同会議は、十五日午後一時から湯本町公民館で開催

▽優良者の表彰▽研究実績発表について▽廿九年度事業計画

珠算試験合格者（３）

▽四級 上遠野公子。国兼敏男。菅天目俊彰。国島正。金成道明。石井仁子。今村純一。大平晃一。菅波碩子。水竹千佳子。桜井照子。小林喜美代。佐藤啓子。時山敦子。久田仁。遠藤初子。猪狩徳子。橋本勝子。山口節子。青木良明。星修。安藤孝子。遠藤勝彦。金成千恵子。菅野洋子。水竹圭一。土井一郎。草野文夫。助川啓。渡辺昭高木良子。高瀬久仁子。箱崎裕代高木恒一郎。桝井京子。佐藤富子河田和夫。遠藤寛。川島正一。長谷川勇。吉田京子。瀬賀務。山崎光子。菊地兼子。服部留吉。木田悦璋。佐野和美。阿部宏。星野実渡辺賢一。相川勝。相良日出子。三好保子。水口富美子。溝井千枝子。中村正子。寺島啓子。赤津タマノ。田中公子。吉田紀子。吉田貞子。四家悦子。津島さき子。小野美子。渡辺倫子。酒井久子。馬目モト子。園部アツ子。上野台弓子。加沢順子。鈴木英子。沼田わさ子。上遠野くら子。野崎弓。川中宏。鮫川ムツ子。正木悠起子。藤井慶子。氏家久子。鈴木寿美子鈴木一枝。掛札洋子。後藤花子。片岡澄子。飯塚京子。瀬谷和子。高橋岩夫。藤井貞子。佐々木セツ子。酒井正子。小宅紀夫。川崎昭子。田子勝利。志賀武。松山広志。計二八二名

▽五級菅野紀子。宮川俊子。小梨実。箱崎文彰。池田正則。早川富男。下河辺由人。結城常信。小松谷満子。熊谷京子。小林美代子。熊谷芳子。佐藤喜久子。別所テル子。木村林蔵。古川勝栄。中野正男。小川行正。木幡玲子。坂本シゲ子。吉田弘。泉信男。渡辺カツ子。大塚和枝。大峯洋子。古渡英子。大峯栄子。卯木美江。丸山マサ子。木村武子。西山キヨ子。大堀恵以子。森山広志。西山正。山本育平。宗像克彦。高橋健次。松崎栄治。四家実。塩雅久。武藤吉子。蛭田和子。櫛田マサ子。添田信子。菊地セイ子。志賀君代。小山内ハツミ。高木宏。長久保国彦鈴木英昭。鈴木春男。山野辺英将鈴木勝巳。大河原功。平馬正毅。大和田晴夫。増山宏明。鈴木賢一藤沢勝雄。山県年夫。三神将幸。根本恵久代。桂洋子。森合八重子小野浩子。畠山セキ子。篠原喜美代。斎藤セツ子。笠間京子。高野正子。浦住トシ子。大島正子。鈴木美代子。伊藤唯志。川上文江、藤原タカ子。菅野敏夫。山本満。山本幸子。山本直子。広瀬勝幸。上野洋子。笠原昌彦。鼎渕利枝。加藤節子。五十嵐サダ。草野キヨ子。松本花代。松本スイ子、吉田トシ。吾妻ユキイ。鈴木一夫。金城大元。小野美智子。佐藤菊枝。鎌田修子。会田英治。門馬節子。渡辺圭子。白石力男。遠藤弘一。片寄文恵。蓮沼操子。蓮沼光枝。金成好江。吾妻ミサ子。高橋君子三国恵子。高橋房江。和田光子河村正男。和合栄子。宮城あや子。酒井京子。渡辺正一。小関正宣。関宣晴。佐瀬勝巳。今野紀久夫。羽山始。秋山周久。佐藤美智子。塩静江。佐久間八重子。坂田久子猪狩秀雄。印藤信子。木皿幸子。赤塚啓子。遠藤久子。坂本直治。菊地イクエ。星野弘士。高田実千子。蛭田節子。鈴木丈夫。本田勝雄。岩本政彦。早坂正子。金見定男。吉田敏子。高橋孝造。小野健司。鳥海淑子。吉田恵津子。木田美智子。久保木茂。坂本三雄。鈴木国夫。明智カヅ子。平山晃。小出那代。上遠野公子。猪狩宣子。小野一之。鈴木富子。遠藤正一。加藤秀欣。今村純一。斎藤武弘。高萩光男。坂井文江。片寄幸子。佐藤啓子。菅野満喜子。鈴木京子小林昇。高梨ノブ。新妻豊子。五十嵐和子。坂本京子。坂本京子。木皿チイ子。粟谷古。富田圭子。軍司勇。鈴木勲。鈴木孝雄。鈴木英子。鈴木文代。大楢和子。佐藤美幸。中村正子。市川陽子。松井弘子。高木晴子。佐藤栄子。青山礼子。大津勝子。馬上臣吉。小野弘子。三浦キミ子。福島昭南。永沼美佐子。新妻紀久子。四家悦子津島さき子。氏家久子。吉田昭子鈴木寿美子。佐藤芳子。山田正男佐藤一之。瀬谷和子。五島繁子。瀬谷喜久子。折原正美。沼田喜久芳賀貴。田内実。緑川喜久。永井時夫。小宅紀夫。芳賀文子。畑山廣子。蛭田ヒサ子。高木隆子。早坂元久。佐藤清子二二〇名（続）

雙方するどく對立
活氣づいた昨日の平事件

平事件第百三十六回の容共派統一公判は昨日に引続き十日午前十時半から地裁平支部で山田裁判長、高橋主任検事、竹沢弁護人立会で開かれ、八日に検事側から証拠調べの一部として提出された供述調書三十二通について弁護人側から「樋渡一郎(三〇)=分離組被告=金泰圭(四〇)吉田政信(四六)=検事側証人の供述調書は先に法廷で証言したものと相当の食違いがあるので再喚問したい」と要求あり、これに対し検事側では「すでに十分調べてあり、いまさら呼んで証言を求めても効果もない」と反ぱく、結局裁判官会議の結果前記三名と菅藤勝一(三三)=分離組被告、検事側証人=の供述調書は保留して、残り三十通を証拠として採用することに決定

これに対し弁護人側はあくまで〃憲法違反だ〃と反ぱくしたが入れられず、同十一時三十五分一たん休けいに入り、午後は一時半再開、午前中保留になつた金ほか三名の供述調書の任意性を実証するため検事側から菅野富恒部長、二本松区検検察事務官椿剛吉氏(三六)地裁平支部書記補白岩四郎氏(三〇)の証人申請があり更に弁護人側から午前中申請された金ほか二名をそれぞれ証人として喚問することに決定、検事側から新たに熊田豊治外十七名、四十四通の供述調書の証拠調べ請求があつて同四時十分閉廷した、次回は二十二日、去る十日決定した六名の証人は二十四日喚問される

〃小型運轉〃合格者

去る一月十九日小名浜町で施行した小型運転免許試験合格者は次の通り判明、十日平市署で免許証の交附を行つた

◆小型四輪車。草野健。大井川庄平。佐藤文雄。遠山旭。山口平吉。志賀邦孝。大平孝平。山本茂。宗形広紀。松崎一郎。荒川昇

◆自動三輪車斎藤平男。長谷川松長。佐藤伊加志。志賀平三。志賀圭相。関原誠司。佐藤静夫。中村誠一。片寄哲。山川四一。根本三幸。井上純人。山田政光。山野辺邦夫。永井邦明。坂本孝平。佐川庄平。滝口幸三。鎌田岩雄。小松崎勇之助。吉村清。矢野貞夫

◆軽自動車木田誠一。野崎秀幸。杉山寿太郎。鈴木伸夫。片寄安義。結城鬼丸。赤間六郎。今井速水。桜山俊也。関原昭。花見智。安部金吉。高木昌巳。杉浦乾一。鬼怒川徳也。津野文雄武田金一

◆自動二輪車大井川庄平

◆側車大平川庄平

◆普通自動車渡辺健三。橋昭二郎。箱崎源伸

ラジオは古山

平駅前大通り 電77番
運動具は 大塚へ

大黒屋の只今のニュース
大黒屋独特の 作業上衣とズボン大會
上衣 550円—1,300円 ズボン 450円—1,050円
綿ドリル、ギヤバ、カツラギ、上衣、ズボン
皆様の利益を譲る店 大黒屋
平支店・大丸店・金坂店
湯本店・小名浜店

父徳治儀かねて病気療養中の処二月九日午前十時三十分死去いたしました

生前の御厚誼を深謝し謹んで御通知申上げます

追つて葬儀は来る十四日午後一時自宅出棺いたします

昭和二十九年二月十一日

平市田町四（甲陽館）

嗣子 武由都弘
妻 武田ハナエ
馬目玉彌
明智和一
外・親戚一同

当組合長武田徳治殿かねて病気療養中の処二月九日午前十時三十分死去いたしましたので茲に謹んで御通知申上げます

追つて葬儀は来る十四日午後一時平市田町四の甲陽館自宅出棺いたします

昭和二十九年二月十一日

平市旅館組合

求宅地建物
多数申込有 至急買度
不動産売買・仲介・鑑定
福島県知事許可登録済
平住宅地建物取所
平市才槌小路踏切際色川材木店内電三六一番

社員急募
業務拡張のため
契約部社員
男子 女子 数名
年令三十才以上高卒 特に外務経歴者を希望
履歴書本人持参のこと
固定給面接の上決定
日本建物株式会社
平営業所
平市大町三 電五八〇
管内出張所
湯本天王崎二六 電呼二五一
四倉町本町 電二五七

近火御見舞御礼

十一日近火に際しましては早速お馳付下され御見舞を賜わり有難う御座居ました

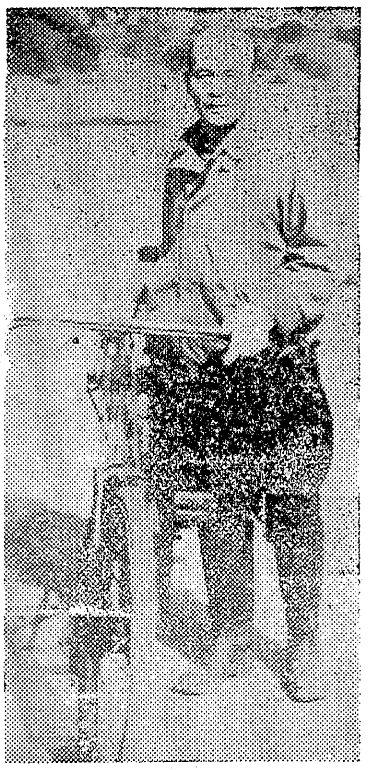
混雑致しておりましたので御尊名洩れも有る事と存じますので取敢ず紙上を以つて御礼を申上げます

昭和二十九年二月十一日

平市古鍛冶町
ときわ
電二二六番

"百万圓"の幸運者
内郷町の魚屋關根さん

政府発行の一月宝クジ抽選会は三十一日徳島市歌舞伎座で行われ、一等、百万円の当りクジの〇七組の一九四二五〇番が平市三丁目勧銀平支店前のサービス、ステーションから売出されていることが判り話題を呼んでいたがその後当選者の名乗り出もなく、行ずりの人が買つたのだろうと百万円騒ぎも鳴りをひそめた矢先、突然十一日の午前十一時ごろ内郷町綴字七反田五九魚商「かね福」関根福蔵さん（五六）が、勧銀をおとずれ「私の六枚買つたうちの一枚が幸運の一等でした」と名乗り出で再び百万円の噂さで持ち切りである



夢にみた百万圓
全部定期預金に預入れ

夢にまでみた百万円の幸運を掴んだ関根さん宅をおとずれるとさすが喜びをかくし切れず次のように語つてくれた

「一月六日の日ですがいつものように平の魚市場に内郷の魚屋と一緒に仕入れに行つたのですところが私達同業者は毎月宝クジを求める習わしになつていたので、同業者から皆んな宝クジを買つたが、お前は買つたのかと言われたのでおれはまだ買つていないと言うと早く買へよ、当選番号がなくなるぞと言われたのであわてゝ買つたのです

それも昨年十一月買つた親子宝クジが七等に当選したので賞金を貰わず、そのクジを引換に〇七組の一九四二五〇、同五一、同五二、同五六とその外の組二枚、計六枚を買つたうち一番始めの番号が当選したのです

当選したときは夢のようでしたまさかと思い目をうたぐつた程です、発表になつた日も同町竹の内の同業者の安斎魚屋さんが一番違いだつた、誰か当つた者はいないかと言われ私の番号が五〇台だつたのでもしやと思つたが、確めてみなければ判らないので言うのもためらいましたしかし驚いたですね新聞を見て間違いのないことが判つたときは新聞にむかつて手を合せました、今日銀行から受けとつて全部定期預金にして来ました（写真は銀行からの帰路を急ぐ関根さんと下は喜びの家族）

終戦の翌年
北支からの引揚

当選者の関根さんの自宅には妻スエさん（五三）との間に長女マサ子さん（三六）長男福夫さん（三四）次女ヤエ子さん（三〇）三女レイ子さん（一六）＝中学二年生＝次男昭三君＝小学三年生＝またマサ子さんの子洋子ちやん（三）ヤエ子さんの子真弓ちやん（二）の家族がいる

平和な家庭で戦前は常磐炭砿に務めていたが、昭和十八年常磐炭砿経営で北支にある三省炭砿に一人で働きに行き終戦の翌年昭和二十一年に引揚げて来た。そして現在のところで弟が魚屋を経営していたので手伝い、三年前に店を譲り受けてずつと家族と共に魚屋をしている

新聞を拝んで
うれし泣のお父さん
家族達の話

「父は煙草はすこし喫むが、酒は飲まないため毎月酒代のつもりで四枚ぐらいの宝クジを買つていました、昔はすこしぐらいかけ事もやりましたが、いまではプツリとやめ商売に一生けん命です、当選した日は真青な顔をして家に飛込んで来ました、いつも仕入れて来た魚をかたずけて家に入るのですが、その日は仕入れて来た魚も放りつぱなしにして新聞だと言つてひつたくるようにして新聞をみていましたが、そのうち新聞に手を合せておがんでいましたので、父ちやんどうしたのと聞くと百万円が当つたと言つたので驚ろいてしまいました、始めは信じられませんでしたけれど」

「本紙の記事で」
山羊君の飼育主判る

（既報）去月二十九日付本社紙上"耳と目"に掲載された旧正月のしや婆風景をのぞこうと繁華温泉街湯本の国道をのこのこうろついていた小山羊を警察が保護して飼育主を尋ねあぐんでいる記事を見て飼育主はてつきり離れかに喰われたものとあきらめていた矢先だけに旧正月中縁起がよいと小躍りして喜び、八日午後二時ころ湯本地区署を訪れ引とつた、飼育主湯本町横町精米業大功金治さん（五六）は「御心配かけて申し訳ありませんでした」と幾重にも礼を述べ、「淋しかつたろう」と小山羊の首筋をなで廻すとメイメイと嬉しそうに飼育主に体をすりよせ、迷子は悲しいものですよ……と小山羊は語つていた

校長会第二支会

第二支会総会（湯本、磐崎、小名浜）では十日午後一時から総会をひらき、二十九年度の事業計画について協議した結果、小中校の校長合同連絡会議は四月一回、秋一回の二回開催することを決議し更に二十五年度から発足したスライド研究会は、活用が少いため今年度から解散、二十七日中央でひらかれる精神衛生研究会に、二支会代表として長倉小校教師広部昌子さんが出席することを決めて散会した

待たれてる
内郷フン尿処理

糞尿処理問題で悩み続けた内郷町も糞尿処理対策を構じ、ようやく四月上旬ころから解消される明るい見通しにはなつているがこの糞尿で町を充満した町内の便所数は約千余戸を数え、特に炭砿の街だけあつて常磐炭砿の住宅にある便所の数は　自動車で運搬出来る共同便所九十七、個人便所十四、小型自動車で運搬し得る共同便所百十七、個人便所四百一、担運搬共同便所十五、個人便所五十二で計七百戸という便所を有し各便所が溢れ出た数量は実に相当なる量となり町は糞尿の海と化す一歩前で一応解決されるので、町民はホツト一息つくことになり、事業開始が待たれている

長倉校で
毎朝ウガイ実施

磐崎村長倉小校（校長佐藤忠一氏）では、去る一日同校PTA会を開き、冬期に入つて当地方にフウシンという感ぼうが流行しているので、学校として毎日ウガイ励行実施が主張され、全校児童千五十五名に対し早速毎朝一人百CCづつのウガイを実施した結果厳寒にも拘不一人の風邪引もいないという立派な成績があがり明るい話題を投げている

小名浜一中
増築入札決る

小名浜一中校の増築工事は、このほど入札の結果同町同定西小原松之助、同町船引場柳内庄八の両氏に落札した

内訳は小原氏は三百廿八万円で四教室増築、柳内氏は百四十八万円で別棟二教室増築を請負い五月までには何れも完成の見込み

市会協議会

平市では十三日午後一時から市会全員協議会を開催して、懸案の城坂踏切問題及び、平窪砿害地の簡易水道施設、冷害対策の一環としての営農資金問題等について協議する

市会第二部
教育委員会開く

市会第二部（教育）委員会は十二日午後一時から市役所委員会で開催、二十九年度の教育予算について協議検討する

甲陽館主人
武田氏永眠す

平市甲陽館主、武田徳治氏（六二）は予ねて病気のため仙台市東北大学附属病院に入院中だつたが、去る九日午前十時三十分薬効なく永眠した、現在平市旅館組合長の要職にありその逝去を悼まれている

追て葬儀は十四日午後一時自宅甲陽館で行われる

天気予報

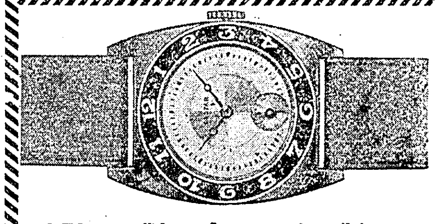
（明日）東乃至南寄りの風、晴後曇りの天気ですが、遅くなつてしぐれることもありましよう（海上）明日は多少風波がありましよう、明日遅くから明後日にかけて風波高く時化ぎみとなりましよう

綿とふとん
スズキ製綿店
平市新川町　電四　一番

外科
整形外科
性病科
内科
胃腸科
呼吸器科
婦人科
歯科
レントゲン放射線科
薬局

院長　松村亨
主任　田辺勇成
医員　高野節哉
第一内科主任　岸本隆夫
第二内科主任　岡崎仁
医員　小野実
主任　松村亨
主任　松村政次
技工部　吉田吉之助
主任　新妻春治
薬剤師　香川ナヨ

平市南町二十三番地（駅より真直大通り三丁）
医療法人　松村病院
看護婦募集
電話　一〇七番（受付・事務）
電話一六九六番（第二病室）
電話一八九二番（給食部）



時計は…精工舎とスイス製
万年筆は…K14金ペン附優秀品
御贈答用サツクアリマス
平指定商加盟店
山崎時計店
平市五丁目　電九九一番

燃料の節約は
特殊棒炭
煉炭
東和カマド
市原商店
平市一丁目角
電二四四　四九九番

医療法人
竹林病院
平市十五丁目電八〇二・一六〇八
整形外科
内科
外科
レントゲン科
理学診療科
院長　竹林貞吉
医長　中川増郎
医員　永山徳二
薬剤師　永山洋子

◎スクーター界の王者◎
ラビツトスクーターとは
最も新しいスマートな５４年型
５馬力　キツク付　１６吋タイヤ
は皆様をどんな遠隔の地にも安全に運んでくれます　２人乗りドライブ用としても最適です
スマートで手軽で 便利な2輪車
クインロケツト號
クインロケツト号は安全で経済的で手頃なそして仕事を能率化する車です
（お電話御参上下されば見本カタログ差上げます）
代理店
東北サンカー商會
平市白銀町 電1069番

待望！
発走10時半
5組制実施
平競輪
場外車券売場
福島市・郡山市
若松市・平市
2月 678．131415

新春の装いは
☆紳士服地☆
☆婦人服地☆
新柄各種取揃えました
御注文仕立は迅速にいたします
㊕の店
服地専門店
マルエ
銀座　TEL 265

パンとオヤツの店
平2製パン
平市田町大通り 電八二七番